

こんにちは。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。
もうすぐ寒露。朝晩はすっかり涼しい今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。
このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、
今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。
メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、
oishiikyusyoku@gmail.com まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

1 子どもたちの給食を有機食材にする全国集会 ご報告

■ 1 ■ 子どもたちの給食を有機食材にする全国集会 ご報告

9月25日、世界中に広がるオーガニックの波～子どもたちの給食を有機食材にする全国集会～が開催されました。東京都世田谷区の会場とオンラインを併用してのイベントで、全国から600名以上の方が参加されました。内容を抜粋してお伝えします。

ジャーナリストの堤未果さんからは「アメリカ発の給食ビジネスと狙われる日本の子供たち」のタイトルで講演がありました。

米国では教育予算が削減された際、まず削られたのが給食費だったそうです。そこで安いファーストフードのような給食が提供されるようになり、肥満、精神疾患やアレルギー、消化器疾患、虫歯等の病気に苦しめられる人が急増しています。食品ビジネスとしては、子どもの頃に食べ慣れた味は大人になっても食べ続けてくれるので、子どもは格好のターゲットです。

しかし米国では、このままではいけないと母親たちが立ち上がり「マムズ・アクロス・アメリカ」などの団体が子どもたちの食を守る運動を開始。そうになると売り先のなくなったものはどこへ行くのか、それは基準緩和が続く日本です。

日本にも「有機農業の推進に関する法律」という法律があります。法律があればそれに則った予算をつけることができます。市町村に予算をつけてもらう働きかけをするなど、地域で小さくきめ細かく運動をすることで、子どもたちを守っていきましょうというお話に勇気づけられました。

そして実際に日本で行われている学校給食先進事例の紹介がありました。

千葉県いすみ市では、学校給食で100%有機無農薬米を実現しています。2013年

にスタートした有機栽培米への挑戦は、2015年に11%、2016年40%、2017年70%と供給量を増やし、2018年に100%を達成、現在は有機野菜にも取り組みを広げています。有機野菜は品目選びから作付け、納入まで有機野菜連絡部会（事務局：市農林課）の定例会で協議して進めているそうです。

東京都武蔵野市では、学校給食に有機野菜を使用しています。有機野菜は泥付きや形・大きさの不揃いなど規格が揃っていないこともあるのですが、そこは調理員の手間で解消しているそうです。調理員経験者を栄養士として採用することで、どこまでなら調理で対応できるのかを見極め、食材選定や献立作成をできるのが強みだとおっしゃっていました。

石川県羽咋市では、学校給食に自然栽培米を使用しています。2016年には学校給食週間でオーガニック給食を提供、現在は37名の農家が自然栽培米を学校給食に納入されているそうです。

それ以外にも、愛知県東郷町、熊本県山都町、長野県松川町などで有機野菜を使用している実践例をお聞きしました。海外では、イタリア（有機農産物卸売先の26%が学校給食）、フランス（2022年までに給食食材の50%を有機に）、韓国（2021年からソウルの全ての小・中・高校でオーガニック無償給食）などの事例が紹介されました。

今回のイベントで印象に残った話が2つあります。1つは、医学部では栄養学を学ばないという話です。医療と栄養と健康が統合的に考えられていないとすれば、政策が行き届かないこともあるでしょう。学校給食は基本的に子どもたちに選択権がありません。だからこそ、子どもたちの将来に渡る健康を考えたものを提供する必要があります。有機農産物はその大きな選択肢のひとつだと思います。

もう1つは、持続可能な有機農産物供給には、栽培技術の習得が欠かせないという話です。今回事例紹介の多くで、技術指導なしには実現できなかったと話されていました。奈良で開催している有機栽培講座も一助になればという思いを強くしました。以下、よろしければご参加ください。

生産量を格段に伸ばし、高品質の農産物をつくる有機栽培講座
「栽培技術セミナー」

第3回 アミノ酸肥料と水溶性炭水化物の施肥技術と産地形成の実践例

日時：11月17日（火）13:00～16:00 講師：元木雅人 イベントID：16201727

第4回 未来を創る BLOF 理論～無農薬・高品質・多収穫栽培を成功させるために
日時：1月27日（水）13:00～16:00 講師：小祝政明 イベントID：16201728

会場：ミグランス 橿原市役所分庁舎4F コンベンションルーム（近鉄大和八木駅）

参加費：無料

申込：コープ自然派奈良 メール eventnara@shizenha.co.jp

TEL 0120-408-300（携帯からは088-603-0080）

※オンライン参加ご希望の方はメールにてお申込みください。

●来月もお楽しみに♪●

メルマガ発信元：きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）

E-mail：oishiikyusyoku@gmail.com

facebook：<https://www.facebook.com/oishiikyusyoku>

事務局：生活協同組合コープ自然派奈良内（奈良市今市町40-1）
